

1. 対象部材  
 洗面化粧ユニット用排水管接続部材 略称：CjK 排水管

2. 標準(共通)化の部位  
 ・標準(共通)化の部位を図1に示す。  
 ・対象部材は樹脂製のU管と器具排水管および、付属するナットとパッキンのセットである。

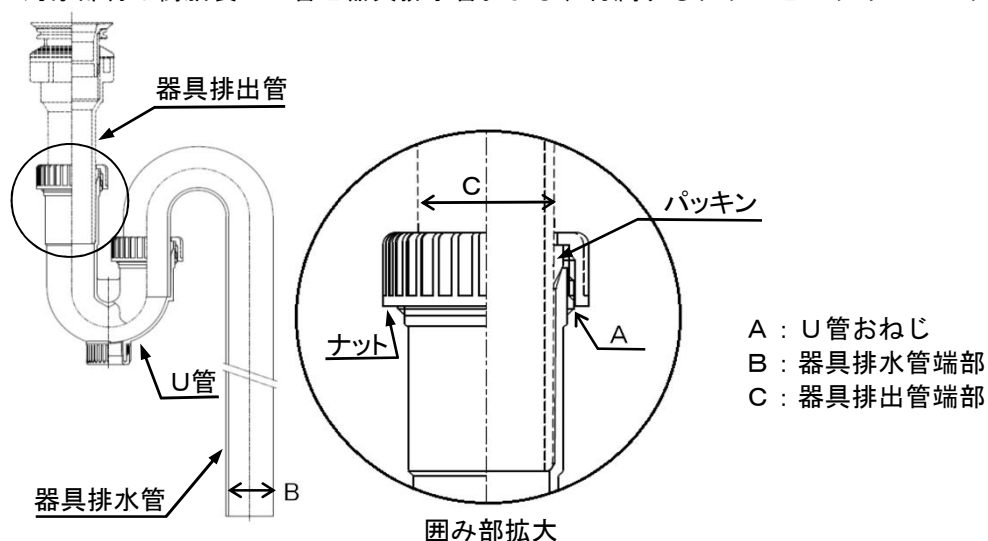


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状  
 図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法	
	①	②
A : U管おねじ種類と呼び径	G 1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub>	W4 0山1 2
B : 器具排水管端部外径	3 2	

注記：「G 1<sup>1</sup>/<sub>4</sub>」はJIS B0202(1999)「管用平行ねじ」に規定されるねじである。  
 (単位はin)  
 「W4 0山1 2」は JIS B0206(1965)「ユニファイ並目ねじ」に規定されていた「ウィット細目ねじ」である。

4. 表示方法  
 部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。  
 または、「CjK」マークを表示する。

## 5. 特記事項

### 5.1 関連部材が具備すべき条件

- ・ 建築側立ち上げ管は、JIS K6741 (2016) ”硬質ポリ塩化ビニル管” に定めるVP/VU40 またはVP/VU50とする。
- ・ U管と器具排水管は付属するナットとパッキンを使用し、セットで交換する。
- ・ U管に付属のナットとパッキンで器具排出管を確実に接続固定できること。
- ・ U管と器具排水管および、付属のナットは樹脂成形品とする。
- ・ U管と接合する器具排出管端部は表2に規定する寸法とする。

表2－各部位の寸法

単位：mm	
項目	寸法
C：器具排出管端部外径	31.5 ≤ C ≤ 32

### 5.2 その他の条件

- ・ 対象部材を設置する際には、図2に示すように器具排出管と建築側立ち上げ管との距離が対象部材のU管と器具排水管の幅で設置できることを事前に確認する。
- ・ 器具排水管は図2に示す排水アダプターや防臭キャップなどを用いて建築側立ち上げ管と接合すること。

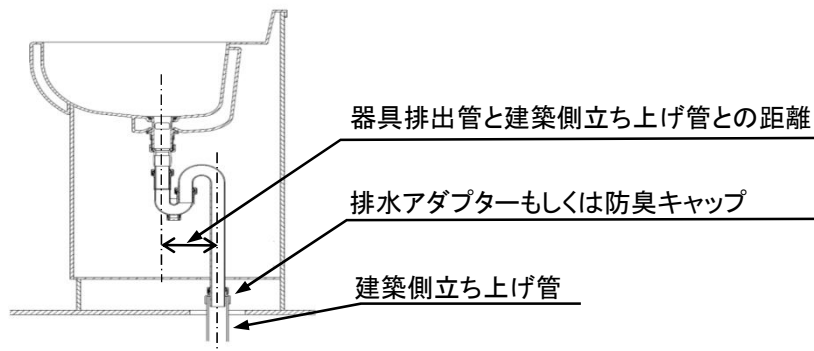


図2－器具排水管と建築側立ち上げ管との接合例

## 6. 解説

- ・ 器具排水管には、図3に示す直管と図4に示すフレキシブル管がある。規定する寸法は共通である。

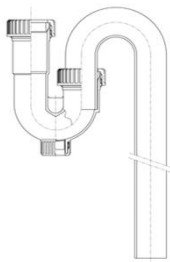


図3－直管

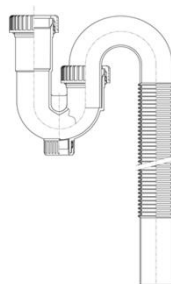


図4－フレキシブル管

- ・ JIS B0206では「ウィット細目ねじ」はすでに廃止されているため、「W40山12」の基本寸法を表3に示す。

表3－「W40山12」の基本寸法

単位：mm	
項目	寸法
ねじのピッチ	2.1167
ねじの角度	55°
おねじの外径	40.000
おねじの有効径	38.645
おねじの谷の径	37.290

## 7. 共通事項

### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。